

人権だより

(令和3年度12月号)

川之石高校人権委員会 担当 1年次1組

2学期の人権委員会の活動を振り返ると、9月は朝礼での活動発表、10月はユニセフ募金の呼びかけや粗品の準備、11月は川高祭での募金活動や人権・同和教育ホームルーム活動、9月と12月の朝の挨拶運動というように、毎月の活動をそれぞれが自覚を持って取組めたと思います。今月は、11月の人権・同和教育ホームルーム活動の報告と、校内人権ポスターの優秀作品の紹介をします。

1 第2回人権・同和教育ホームルーム活動の報告

11月19日(金)第6時限に、人権・同和教育ホームルーム活動が実施されました。各HRの活動の様子を人権委員が報告します。

【1年次テーマ：自分の周りに目を向けよう】

1の1：性的マイノリティーから考える



〔1の1〕トランスジェンダーの方の資料を読み、身体は女性で性自認が男性の人が「男の子になりたい」ではなく、「男の子なんだ」という気持ちであることを知った。見かけだけで判断しないよう、多様性を理解していきたいと思った。

1の2：新型コロナウイルス感染症から考える



〔1の2〕事前準備で、調べ物や司会のリハーサルなど真剣に取り組めた。授業時は新型コロナウイルス感染症やいじめについてグループで話し合いや発表を行い、みんな真剣に考えていたと思う。

〔1の3〕事前準備で、校内を車椅子で走行する動画撮影を行い、授業時にみんなで見た。また「川高バリアフリー化マップ」をグループで作り、改善点を発表し合ったが、それは車椅子を使われる人だけでなく、誰にも優しくなる内容だとわかった。

1の3：障がい者の人権から考える



【2年次テーマ：解放への歩みⅡ—水平社の展開と愛媛の水平社運動—】

2の1

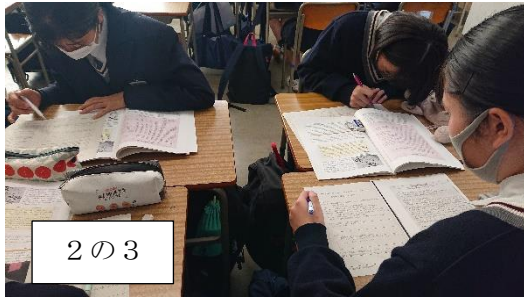


〔2の1〕事前に放課後、先生と打合せや練習をした。水平社宣言の言葉に込められた思いについて知ることができたという感想があったと聞き、私たちが伝えた内容を理解してもらってよかったと思った。

2の2



〔2の2〕司会、みんなの意見をホワイトボードに書くなど、授業の進行を先生と一緒にやった。水平社愛媛支部の設立に貢献した松浪彦四郎の功績を学び、正しいことを実践する人になりたいと思った。



2の3

〔2の3〕準備は十分にできたとは言えないが、当日は先生と協力して進めることができた。考えて発表する人が固定されているので、3学期はもっと積極的に自分の意見を発表してほしい。

【3年次テーマ：解放への取組Ⅱ—結婚差別の解消に向けて—】



3の1

〔3の1〕司会の他、結婚差別の事例を二つ読み上げ、未だにある差別について伝えた。事例をもとにグループで意見交換を行ったが、しっかり発表もできていたので有意義な活動だったと思う。



3の2

〔3の2〕2回目のホームルーム活動だったので前よりはスムーズに進行を行うことができたと思う。結婚差別に直面したときの対応についてみんなで考え意見を出し合った。

〔3の3〕前のホームルーム活動で理想の結婚について考えたうえで、この日は、結婚差別解消のためにどうすればよいか取り組んだ。班活動の時間を計測して、スムーズに活動を進めることができた。

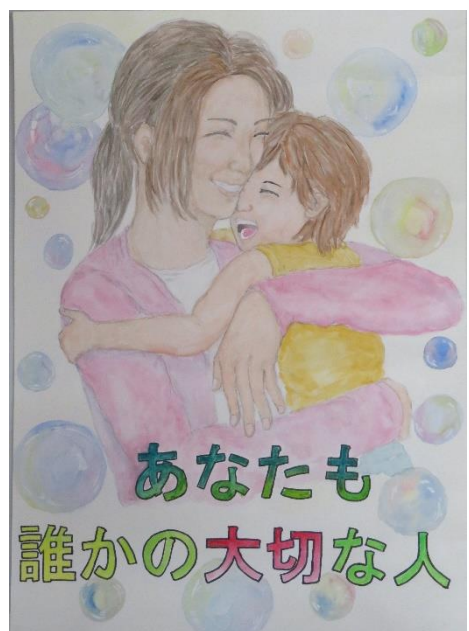


3の3

2 校内人権ポスター優秀作品の紹介

右は、1年次2組の横尾衣梨花さんの作品です。とても優しいタッチと色合いの水彩画で「あなたも誰かの大切な人」というメッセージとともにマッチしていると思います。横尾さんに、作品の意図やこのポスターで伝えたいことを聞きました。

— 横尾衣梨花さんからのメッセージ —
 このポスターは、自分や自分の周りの人たちを大切にしてほしいという思いで描きました。私に家族や友達という大切な人がいるように、周りのどんな人にも大切な人がいると思います。周りの人たち一人一人が誰かの大切な人なのではないでしょうか。だからこそ、その人たちを傷つけてしまうようないじめや差別はなくそうということ、自分も誰かの大切な人と考え「自分は誰からも必要とされていない」「もう自分の存在価値が分からない」なんて思わないでほしいこと…このようなことをこのポスターで伝えたいです。



※人権委員会の掲示板に掲示していますので、御覧ください。

